

上宮寺通信

第十四号

不安を持つのが私

朝晩もめっきりと涼しくなり、過ごしやすくなってきました。スポーツの秋といわれるようにウォーキングなどで身体を動かす人も多い季節です。

世の中は健康ブームで、日本人は特に健康に対する意識が高いと言われます。テレビでも毎日のように健康に関する番組や健康食品のCMが流れます。人気の番組でこの食べ物体が良いと紹介されれば、次の日にはスーパーでそれが売り切れるという現象が起きるのも珍しいことではありません。なかには「健康のためなら死んでもいい」と豪語する人もいるとか、いないとか…。

なぜこれほどまでに健康に関心がいくのかというと、「いつまでも思い通りに動く健康な体でいたい」という思いがあるからにほかなりません。年齢を重ねても自分のことは自分でやりたい。他人の世話にはなりたくない。このことからいっまでも健康でありたいと願うのです。

人間が動物と違うところは自分の未来を考えることができることだと思えます。いつまでも若く、健康な体であり続けることができれば何の問題もありませんが、現実はそのようなわけにはいきません。自分にとって都合なことも頭をよぎります。そういうときに人間は不安になる。テレビの健康番組や健康

食品のCMはそのような不安を利用して作られているといっても過言ではありません。

私たちは不安を消そうと、一生懸命に健康に注意して運動したり、体に良いものを食べたりします。しかし、それで不安は解消されるのでしょうか。一つ不安が解消したら、また次の不安が出てくる。これが私です。

不安は健康だけではありません。生活のこと、お金のこと、人間関係のこと…、数え上げたらきりがありません。

北陸の念仏者で山崎ヨシさんという方は「不安は私のいのちやもん 不安とられたら生きやうがないわ」と言われました。不安を消すことに一生懸命にな

るのではなく、不安を持つのが私であると、そのままの自分をいただいでいくことができる。

浄土真宗で信心のことを安心(あんじん)とも言いますが、まさに自分はどうな自分であろうと自分であると安心して落ち着くことができる。このことが念仏をいただくことであると、念仏者の生きざまから教えられます。



◆行事案内

上宮寺の行事

10月23日(水)

上宮寺講

時間:午後二時~

11月8日(金)

報恩講

時間:午前十時~午後一時半

法話:伊奈祐諦 師

(西尾市安楽寺住職)

※お斎(食事)がありません。

皆さまのご参詣・ご参加をお待ち
しています。

東本願寺 報恩講

11月21日(木)~28日(木)

名古屋別院 報恩講

12月13日(金)~18日(水)

その他の行事

10月9日(水)

舞楽と管絃の会

時間:午後六時半開演

会場:名古屋市芸創センター

※入場無料

参加者募集

本山報恩講団体参拝(日帰り)

11月25日(水)

バスにて本山報恩講にお参り

し、紅葉のきれいな粟生・光

明寺などもまわります。

参加費 14,000円

定員 四十五名

申込締切は十月三十一日。た

だし定員になり次第、締切。

詳しくは上宮寺までお問合せ
ください



◆話題あれこれ

○今年に残暑が厳しかったです
ね。気温が35℃近くにまでなった
秋のお彼岸・永代経法要には、暑
さの中、たくさんの方にお参りい
ただきましてありがとうございます。
した。

○十月九日に雅楽の演奏会があり
ます(行事案内参照)。住職、前住
職も出演いたします。お時間があ
りましたらぜひご鑑賞ください。

○来月八日には報恩講が勤まりま
す。ぜひお参りください。また本
山の報恩講への団体参拝も募集し
ています。本山東本願寺のほか、
西山浄土宗の本山光明寺へも参り
ます。ぜひご参加ください。

○法要のことなど仏事についてわ
からないことがありますたら、何
でも気軽に尋ねてください。

【雑感】

中日ドラゴンズは後半に追い上
げをみせたものの、クライマック
スシリーズに出場できず、今年も
Aクラスに入れませんでした。シ
ーズ前は与田新監督への期待、
根尾選手の入団など明るいニュー
スばかりであったのですが、蓋を
開けてみればケガ人も多く、評論
家の予想通りの結果となっていま
いました。中日が強かった頃、ク
ライマックスシリーズなんて必要
ないと思っていたのですが、いざ
今年のように進出の可能性がある
と、これもあった方がいいと思
ってしまいます。人間というのは
つくづく勝手なものです。
(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金一丁目十九番十五号

☎052-871-0547